



レポート

- [レポート, 1 ページ](#)
- [レポートの表示, 2 ページ](#)
- [レポートの電子メール送信, 2 ページ](#)

レポート

[CloudSense™] メニューは、特定のグループに 4 つのレポート タイプを提供します。レポートにはそれぞれ事前に定義された形式があります。以下に CloudSense レポートのタイプを示します。

- 顧客のエンドユーザ課金レポート：このレポートでは、顧客によって使用されている VM、CPU、ストレージ、メモリのコストサマリーが表示されます。また、VM リソースの使用状況と料金の詳細も表示されます。
- グループのインフラストラクチャ インベントリ レポート：このレポートでは、電源状態、サービス プロファイル、VLAN、vFiler、vFiler の下のボリューム、ボリューム グループ、vServer などのサーバの詳細が表示されます。このレポートでは、VM イメージ、リソース プール、データストア、ポートグループ、DV ポートグループなどの仮想リソースのインベントリの詳細も提供されます。
- エンドユーザ グループの物理インフラストラクチャ インベントリのレポート：このレポートでは、特定のグループの計算、ネットワーク、ストレージなどの物理インフラストラクチャ インベントリのリソースの詳細が表示されます。
- エンドユーザ グループのストレージ インベントリ レポート：このレポートでは、特定のグループの vFiler、上位 5 つのボリューム、上位 5 つの LUN などのストレージ インベントリの詳細が表示されます。

レポートの表示

-
- ステップ1 メニューから [CloudSense] を選択します。
 - ステップ2 [CloudSense] ページで、必要なレポートタイプをクリックします。
 - ステップ3 レポートテーブルで、表示するレポートの行をクリックします。
 - ステップ4 [レポートを開く (Open Report)] をクリックします。
 - ステップ5 [レポートの開始 (Launch Report)] 画面で、[形式のタイプ (Format Type)] ドロップダウンリストから、レポートの形式のタイプを選択します。
 - ステップ6 [送信 (Submit)] をクリックします。
選択したレポートが別ウィンドウに表示されます。
-

レポートの電子メール送信

-
- ステップ1 メニューから [CloudSense] を選択します。
 - ステップ2 [CloudSense] ページで、必要なレポートタイプをクリックします。
 - ステップ3 レポートテーブルで、電子メールで送信するレポートの行をクリックします。
 - ステップ4 [電子メールレポート (Email Report)] をクリックします。
 - ステップ5 [電子メールレポート (Email Report)] 画面で、次の必須フィールドに値を入力します。
 - a) [送信先 (To)] フィールドに、受信者アドレスを入力します。
 - b) 必要に応じて件名を変更します。
 - c) [形式タイプ (Format Type)] ドロップダウンリストから、添付するレポートの形式タイプを選択します。
 - ステップ6 [送信 (Submit)] をクリックします。
電子メール送信の成功または失敗を示すメッセージが表示されます。
-